

原料費調整制度に基づく2022年11月検針分のガス料金について

(東京地区等)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2022年11月検針分の単位料金を調整した結果、2022年10月検針分と比べ、1m³ (45MJ) につき9.53円 (消費税込) 上方に調整いたします。

なお、2022年6月～2022年8月の平均原料価格が113,120円/t (2022年11月に適用される調整上限) を超えたため、計算上は平均原料価格を113,120円/tとしてガス料金の調整を行っております。

これにより、1ヵ月に30m³のガスをお使いになる標準家庭で2022年10月検針分と比較して、286円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2022年11月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)						
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m ³)	195.02	180.17	177.97	174.67	165.87	158.17
(参考) 10月 調整単位料金	185.49	170.64	168.44	165.14	156.34	148.64

2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³) 適用料金(円/月)	2022年 10月	2022年 11月	増減
	6,175	6,461	286

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量 (2012年度～2016年度の5ヵ年平均) に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円 (消費税込) を差し引いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2022年5月～2022年7月 の平均 (10月検針分)	2022年6月～2022年8月 の平均 (11月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	110,940	122,310	11,370
LNG	110,680	123,030	12,350
LPG	110,320	104,190	▲ 6,130
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	53,600	65,000	11,400

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && \boxed{123,030} && \times 0.9479 \\ + & \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && \boxed{104,190} && \times 0.0546 \end{aligned}$$

122,308.91

↓(10円未満四捨五入)

122,310 円/t (調整上限113,120円/t)

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \boxed{113,120} \text{ 円/t} & - \boxed{57,250} \text{ 円/t} = \boxed{55,870} \text{ 円/t} \\ & \text{(調整上限)} && \downarrow \text{(100円未満切捨て)} \\ &&& \boxed{55,800} \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} & = \boxed{55,800} \text{ 円} && /100 \text{円} \times 0.0891^{*1} \\ & = \boxed{49.71} \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2022年 10月	2022年 11月	増減
適用料金(円/月)	6,175	6,461	286

・標準家庭料金の計算方法

東京地区等

本体料金(税込)

$$\begin{aligned} & = \text{基本料金(1,056.00円)} \\ & + \text{調整単位料金(130.46円)} + \boxed{49.71} \text{ 円} \times 30\text{m}^3 \end{aligned}$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(57,250円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円(0.081円に1.1(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が113,120円(2022年11月分に適用される調整上限)を超えた場合には、「平均原料価格」は113,120円としてガス料金の調整を行います。